

レジメンcode:	C65-10	備考
適応がん種:	上部尿路癌	
レジメン名:	dose-denseMVAC	
間隔:	2週間	

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
MTX	メソトレキセート	30	mg/m ²	点滴(30分)	d1
VLB	エクザール	3	mg/m ²	点滴(全開で)	d2
ADM	ドキソルビシン(アドリアシン)	30	mg/m ²	点滴(全開で)	d2
CDDP	シスプラチニ(ブリブリチニ)	70	mg/m ²	点滴(2時間)	d2

★ADM 総投与量 500mg/m²以下

- ・合計6サイクルまで投与
- ・尿量確保に注意し、必要に応じて利尿剤(フロセミド等)を投与する。

day1【ケモセーフ使用】

1) 生食	50ml	1 本	ルート確保
2) メソトレキセート		30 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
生食	100ml	1 本	
	主管①	点滴	30分
3) 生食	50ml	1 本	フラッシュ用
4) ヘパリンNaロック	10ml	1 筒	ルートロック
			〈所要時間 約1時間〉

day2【ケモセーフ使用】

1) 硫酸Mg補正液		1 A
生食	500ml	1 袋
	主管①	点滴 2時間
2) 生食	500ml	1 袋
	主管②	点滴 2時間
3) アロカリス	235mg	1 V
パロノセトロン	0.75mg	1 V
デキサート	6.6mg	1 V
デキサート	3.3mg	1 A
生食	50ml	1 本
	主管③	点滴 30 分
4) エクザール		3 mg/m ² 【ケモセーフ使用】
生食	50ml	1 本
	主管④	点滴 全開
5) ドキソルビシン(アドリアシン)		30 mg/m ² 【ケモセーフ使用】
生食	50ml	1 本
	主管⑤	点滴 全開
6) シスプラチニン(ブリプラチニン)		70 mg/m ² 【ケモセーフ使用】
生食	500ml	総液量650ml以下になるように生食を調製
	主管⑥	点滴 2時間
7) マンニットールS	300ml	1 袋
	主管⑦	点滴 1時間
8) ソルラクト	1L	1 袋
	主管⑧	点滴 3時間
9) ラクテック	500ml	1 袋
	主管⑨	点滴 90分
10) ヘパリンNaロック	10ml	1 筒

ルートロック

〈所要時間 約13時間〉

day3、4

1) デキサート	6.6mg	1 V
生食	50ml	1 本
	主管①	点滴 15 分
2) 硫酸Mg補正液		1 A
ソルラクト	1L	1 袋
	主管②	点滴 4時間
3) ラクテック	500ml	1 袋
	主管③	点滴 2時間
4) ヘパリンNaロック	10ml	1 筒
		ルートロック
		〈所要時間 約7時間〉

day5以降

1) ペグフィルグラスチムBS	3.6mg	1本
		皮下注

【文献】

海外第Ⅲ相試験 GETUG-AFU V05(VESPER)試験

J Clin Oncol 2022 Jun 20;40(18):2013-2022 (PMID:35254888)

【適応】

周術期の筋層浸潤性膀胱癌(術前: $\geq T2, N0, M0$ 、術後: $> pT2$ または $pN+, M0$)

*治療開始前に心エコーを行なう事。

*腎機能に応じて、メトトレキセート、シスプラチニンを減量する。

【腎機能によるCDDP減量基準¹⁾】

Ccr	用量
$\geq 60\text{ml}/\text{min}$	70mg/ m^2
50-59ml/min	50mg/ m^2
40-49ml/min	35mg/ m^2
$< 40\text{ml}/\text{min}$	化学療法中止

【腎機能によるMTX減量基準²⁾】

Ccr	用量
$> 60\text{ml}/\text{min}$	30mg/ m^2
46-60ml/min	19.5mg/ m^2 (65% dose)
31-45ml/min	15mg/ m^2 (50% dose)

【その他減量・中止基準¹⁾】

・発熱性好中球減少症またはGrade4の副作用で15%減量する。

・14日以上副作用が改善しないまたは15%減量後にGrade4の副作用が発現した場合は中止。

1) VESPER Trial (PMID:35254888)

2) 抗がん薬用量調節ハンドブック